

清恵会医療専門学院 准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め育人材像も含め入学後のガイダンスでも説明をしている。	養成所指定規則、ガイドラインに沿って、理念、目的、育人材像は定められている。教員や学生への周知も行っている。2022年のカリキュラム改正までに社会が求める看護専門職の育成に見合った目的、人材像の文言を見直していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護の専門職として求められる専門知識、技術を身につけていく人材育成に努めている。また、チームの中で協調性をもち助け合っている仲間意識を重視している。卒業後、現場で実践できるというニーズに応えている。	100%の資格試験合格率を維持している。専門的知識・技術を身につけ、医師、歯科医師、看護師の指示のもと診療の補助技術と療養上の世話ができる実践力のある准看護師、チームで働くことができる准看護師育成、さらに看護師への進学率を上げるには教育力の強化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教職員での理念を周知し教育活動の取り組みができるように努力をしている。豊かな人間性では国語・英語・倫理を基礎として感性を育む科目を取り入れている。	理念にある「豊かな人間形成」の育成については科目構成の他、教科外活動にも力を注いでいる。今後は清恵会グループの特色を生かし、実習や講義内容を充実させていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年齢層が広く10代～50代までの学生がいるクラスであり、目的意識も高く社会人を経験した学生も多くいるため考え方が多様である。様々な生活背景にもかかわらず学べる学習環境である。	准看護師養成所の減少に伴い、卒後准看護師が活躍できる場を考慮し、これからの准看護師教育の将来構造を明確にする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	運営方針については、教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。毎年年度末の教務会議で報告を行っている。教務会議は、毎年テーマを決め、年3回報告を行っている。	運営会議で運営方針が定められ、運営目標、事業目標の達成度について毎回報告を挙げている。運営会議での決定議案は、随時、教員全体へ伝達するようにしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度初めに、学校運営方針を立て、それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議、科長会、教務会で、教員全員の周知を図り、それぞれの業績目標に結びつくよう、学科長が面接を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し月に一度全学科全学年の状況共有している。法人からの指示や方針を伝達し調整している。	国家試験対策、業務改善、実習開発、広報などの委員会活動を実施し、年度末に委員会報告を行っている。教育の質向上に向けた伝達講習会を実施しているが、教員のラダー教育の整備は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。各学年に担任制を取り入れ教員の配置をしている。	指定規則に準じた最少人数の教員は確保されているが、学生の多様化に伴い教員の負担は年々大きく、今年度より実習指導教員を配置。また精神的に不安定な学生も増加しており、担任の精神的負担は大きい。今後スクールカウンセラーの配置検討も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規定に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより各年次の教育内容、実施方針を定めている。	教育課程の編成、実施方針を定めているが、社会の動向や学生層も年々変化しており、教育課程を見直す時期に来ている。2022年のカリキュラム改正に向け、今年度は評価に取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則内規により各年次の科目履修規定を設けている。学科目に対しては、評価点の基準を設けている。	修業年限に応じた教育到達レベルは明確にしているが、達成度を評価する指標がない。授業や実習評価については現在基準を見直しているところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に沿って構成している。その中の科目立てでは、教育目的・目標に沿った科目を組み入れている。授業科目については、シラバスを作成し、授業の始講時に学生に配布している。	現行の教育課程に基づいて講義や実習が行われているが、入学生の社会的背景や学習のレディネスを把握し、学生の能力に応じた教育課程の編成は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。科目の中の講義内容については講師の意見なども取り入れ、講義に組み入れてもらうこともある。	資格試験の出題傾向や実践の場での新しい情報を収集し、担当講師と相談しながら講義や実習を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格試験の修得、専門職としての自己研鑽という観点で学生への学習の促しは実施できている。職業人としての自覚や態度を身につけるキャリア教育については、各実習において学ぶことが多い。戴帽式など学生がそれぞれ役割をもって練習をすすめる。また、お互いの意見を出し合いながら協力し、一つのものを作り上げていくことは、将来看護師という職業にとって重要な体験となっている。	専門的知識・技術を修得し、段階的に科目や実習を構成している。職業人としての責任と自覚、倫理的行動を身につけるための卒後教育も今後必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。専任教員は、看護教員養成講習会の受講を終了している。	科長1名、主任1名、教員4名のうち、未講習の教員は1名。さらに、実習指導教員2名を配置。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員が全員年3回の教務会の課題に取り組んでいる。年1回以上は、研修会に参加し自己研鑽を行い資質向上に取り組んでいる。	個人の自己研鑽への意識は高く、時間を作って外部の研修会に自主的に参加している。研修での学びの伝達、共有を行い、教員全体の教育力の強化も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校職員による講義・演習については授業評価を実施している。また外部講師についても実施を行っている。担当講義科目の終講後に学生全員を対象として講義アンケートを実施している。	学生アンケートによる授業評価は実施しているが、実習評価は遅れている。各教員が、積極的に他者の意見を取り入れ、自己の課題分析ができ、タイムリーに他者に公表または上司に提出することを習慣化する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいたきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき規定の出席率を満たしたものが評価を受ける資格があり、学科試験、実習評価を受け、一定の評価以上の成績にて合格判定をしている。	成績評価・修了認定基準を明確化し、基準に基づいて運用している。判断に迷った場合は教務会議に諮り検討している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2年時に事例学習のまとめ発表を行い教員が参加し学びを共有している。1年生も参加することで、意識を高めることができる。	1年次では看護技術試験、最終学年では事例発表を実施している。今後は実習報告会など成果を発表できる時間を確保し、学びを共有できるような授業形態やカリキュラムを見直す必要がある。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看資格取得にむけて1年次より努力を積み上げていくことや日々の学習を大切に学んでいくことを常に教員が語り、実習と資格試験を結び付けて学習を進めるように意識づけしている。	准看護師の資格、免許については、カリキュラムガイダンス「学生便覧」に掲載しているほか。看護概論の科目でも押さえている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より資格試験対策を行っている。低学年模試を行いその結果をふまえて、学習の動機づけをする。2年次では資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めていく。模擬テストも3回実施し、個人の学習到達状況を把握し資格試験対策を実施している。	定期的に模擬試験を実施し、資格試験対策教員が中心となり個別に応じた学習指導も実施している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
	4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	設置主体法人の奨学金制度がある。6割程度の学生は関連施設に就職をしている。その他は、関連施設以外への就職をしている。	年々就職率は低下しているが6割程度は確保。就職はするが進学しない、就職せずに進学する学生もいる。経済的な事情や家庭環境により仕事と学業との両立が困難な学生も多い。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
4-2 資格取得率の向上が図られているか		④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2018年度准看護師資格試験の合格率は100%である。	創立以来、資格試験合格率100%を維持している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。准看護師資格試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談についてはクラス担任が行い、内容によっては教務科長が行う。	家庭環境や子育て、人間関係についての悩みが多く、担任が年2回、定期的に面接しているが、時間の確保も難しく、担任の精神的負担は大きいため今後スクールカウンセリングの配置も視野に入れておく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援も行っている。	法人の奨学金・学資金制度に9割程度の学生が申し込んでいる。その他、市の補助金制度の活用などで学費を賅っている学生が年々増加。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績低迷な場合や学校生活で問題のある時は、保護者に連絡を取り保護・学生との三者面談を行う。戴帽式の時には、保護者へのご挨拶を行い、学校生活への現状と理解に努め協力をお願いする。	成績低迷な学生は、早期に保護者に連絡し3者面談を実施。戴帽式後の保護者会や成績の送付など保護者との連携体制も検討中。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。今後は保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	40人クラスで教室は設置されているが、かなり窮屈である。准看護師養成に必要な施設設備・用具については最低限以上のものに整備している。校舎が古いため雨漏りもあり老朽化があり、地震等の耐久性も十分とは言えないために送球の対策が必要である。	教室の温度・湿度の微調整ができないこと、ネット環境が整っていない、学生食堂がない。実習ベッドやモデル人形、模型、看護用品、看護雑誌などは指定規則通りの定数は確保できている。年1回点検し、必要に応じて修理・新規購入している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率により、受験生の高齢化が進むと予想される。在学生在が高齢化すると進学率が下がる傾向があり、この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少したが定員は確保できている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、成績の結果などは配慮している。また、実習においては具体的なオリエンテーションを行い誓約書を記載しその中にも個人情報に関する内容が含まれる。実習における患者情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	患者の個人情報に関する記録の管理、守秘義務、SNSの取り扱いについては、実習ガイダンス、学生便覧に掲載。オリエンテーションや機会教育を実施。教員は学生の個人情報に関する情報の管理については取り決めを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価はやっと実施に至ったところである。問題点については、随時改善していくように取り組んでいく。	自己点検評価は、管理者のみで実施していたが、今後は教員全体で役割を分担し、取り組んでいく。今年度は、HPに公表することを目標にすすめている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。